



城南民見協だより

城南のひろば

【令和6年4月1日】
発行日 2024年4月1日
発行所 城南民生委員
児童委員協議会
発行者 眞壁 四郎

意を体する日が続きます

城南民生委員児童委員協議会
会長 眞壁 四郎

穏やかに新年を迎え、ゆっくり寛いでいたら突然の大揺れです。

「本日 16 時過ぎ、能登半島で大きな地震が発生しました。彦根でも震度 4 で、かなり揺れました。明日、時間がありましたら独り住まい等気になる方の安否確認を電話等でして頂ければ幸いです」と、緊急連絡網です。

翌朝、担当地区の被害の有無を確認しながら、気になる家庭を数軒訪問しました。

「地震に限らず、台風接近等で警報が発令されたら、城南小学校体育館が避難場所になっています」「独りで行くのが難しい時は電話等で連絡して下さい」と言葉を掛けました。

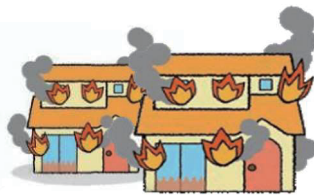
湖北には柳ヶ瀬断層があって姉川地震が明治42(1907)年8月に、また昭和34(1959)年9月には伊勢湾台風が発生して、ともに甚大な被害をもたらしました。特に、地震は或る日突然に、何の前触れもなく起こります。「備えあれば患えなし」を念頭に置き、高齢者や子どもの見守り支援に対して地域から信頼される民生委員児童委員でありたいと、意を体する日が今も続いています。



(「意を体する」とは、他人の思い・考えを理解し、それに沿った行動をすることです。広辞苑第七版より)

過去の震災

主な死因



焼死



窒息・圧死



溺死

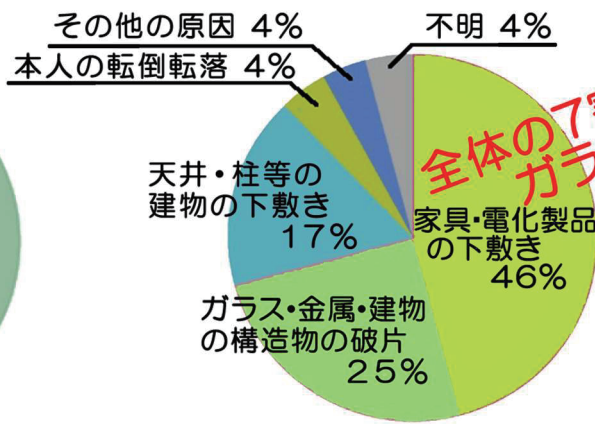
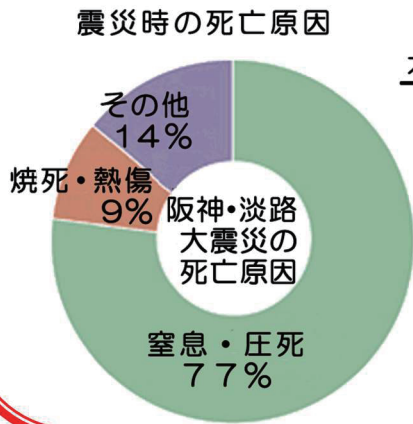
	関東大震災	阪神・淡路大震災	東日本大震災
発 生 年 月 日	大正12(1923)年9月1日 午前11時58分	平成7(1995)年1月17日 午前5時46分	平成23(2011)年3月11日 午後2時46分
地 震 の 規 模	マグニチュード 7.9	マグニチュード 7.3	マグニチュード 9.0
直接死・行方不明	約10万5千人 (うち焼死 約9割)	約5,500人 (うち窒息・圧死 約7割)	約1万8千人 (うち溺死 約9割)
災 害 関 連 死	-	約900人	約3,800人
全壊・全焼住家	約29万棟	約11万棟	約12万棟
経 済 被 害	約55億円	約9兆6千億円	16兆9千億円
当時のGDP	約149億円	約522兆円	約497兆円
G D P 比	約37%	約2%	約3%
当時の国家予算	約14億円	約73兆円	約92兆円

日本はこれまでも数々の大災害に見舞われて来ました。歴史上の大きな地震災害の一つとして大正12(1923)年9月1日に起きた関東大震災があります。この震災を忘れず、災害に対する備えをしっかりと行おうと国は9月1日を「防災の日」として昭和35(1960)年に制定しました。また9月1日は立春から数えて210日で、この時期は台風の襲来が多く災害が発生しやすい理由の一つです。

阪神・淡路大震災の負傷者原因

阪神・淡路大震災で亡くなった人の原因は、窒息・圧死の方が大部分(約3/4)を占めています。負傷者は家具の転倒とガラスの破片による原因が7割となっています。負傷者を減らすには、**家屋の耐震性強化**と**家具の転倒防止**に取り組むことが重要とされています。

震災時の負傷者の原因

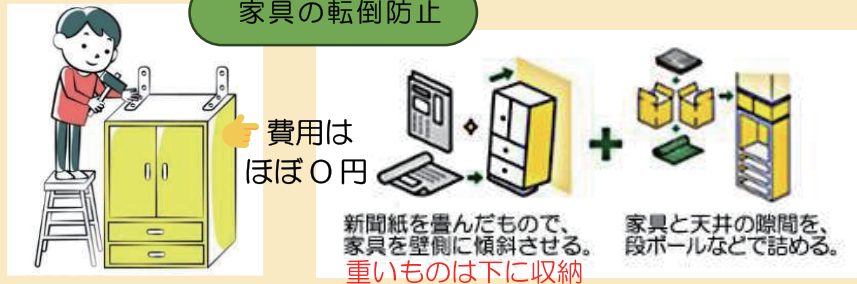


【自助】コツコツ防災・ついで防災 (買い物や掃除のついでに) できることから。



重量150Kgの家具が転倒すると4tの衝撃がかかります。

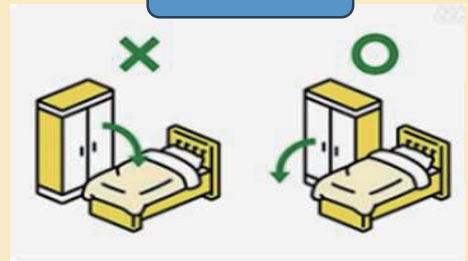
家具の転倒防止



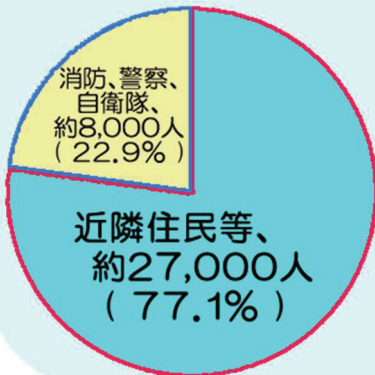
飛散フィルム貼り付け



配置変更



【共助】



救助の実態は公助(消防・警察・自衛隊)が多いと思われませんが、そうではありません。阪神・淡路大震災では77%強が近隣住民の方々によって救出されています。

日頃からの近所付き合い、地域での交流が「自分の居場所を知ってもらおう」大切な機会です。



彦根市民防災マニュアル (各種ハザードマップ含む)



内閣府 防災情報のページ みんなで減災